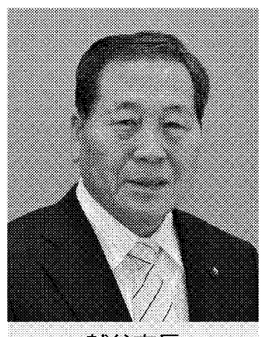
埼玉県 東部地域

越谷市　草加市　吉川市　八潮市　三郷市　松伏町

5市1町 首長に聞く

製造業事業所数が県内3位（2009年工業統計調査）の八潮市をはじめ、埼玉県東部5市1町は中小モノづくり企業の集積地。独自の技術・製品・サービスで日本を支える企業が、多数立地している。97年からは、各市町の商工会・商工会議所が共同で、埼玉東部工業展を開催。毎年、90社前後が出展し、各社の底力を内外に発信している。円高の長期化などにより中小企業の経営環境が厳しい今、こうした地域一体での取り組みは、重要性を増している。地域経済の先導役となるべき各行政のトップに、埼玉県東部産業の展望を聞いた。



越谷市長
高橋 努 氏

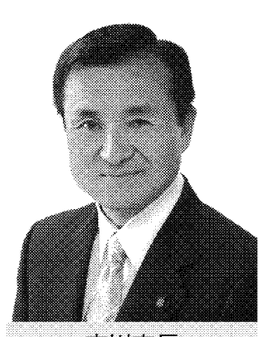
「こしがやブランド」でまちおこし

越谷市は、江戸時代には、日光街道と元荒川舟運の交点に位置したことから、宿場町、米穀類の集散地として栄え、「水郷こしがや」として親しまれている。

本市の産業施策は、社会経済のグローバル化、人口減少・少子高齢化や長引く景気低迷などの課題に対処すべく、地域経済の活性化に繋がる雇用の促進や市民生活向上に重点を置いている。

そのため、中小企業が大半を占める本市では、産業雇用支援センターを拠点に、経営基盤の安定と強化に繋がる各種事業を充実させるほか、産業振興と市の知名度向上のため、新たに「こしがやブランド」認定制度を立ち上げた。また、創業者への育成支援事業、中心市街地の活性化事業等に取り組む一方、観光いちご農園の開園支援や、越谷駅東口再開発ビル内に観光・物産情報コーナーを開設し、〝観光越谷〟をPRしていく。

今後とも、国・県との連携を強化し、選択と集中による効果的投資を行いながら、地域経済の活性化に向けた産業施策を展開すると共に、観光に力を入れ、全国に埼玉・越谷を発信していく。



吉川市長
戸張 胤茂 氏

工業団地の拡張でさらなる産業振興へ

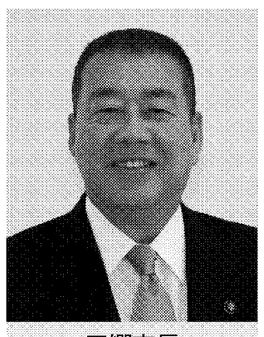
吉川市は、1996年4月に市制を施行した若さあふれる新しいまちといえる。ある経済情報誌による「住みよさランキング」では、全国809市区中、吉川市は58位（県内2位）と高い評価をいただいた。

12年春にはJR武蔵野線吉川駅～新三郷駅間に吉川美南駅が新たに開業する予定でさらなる発展が期待できる。

少子高齢化時代に対応して、さらに総合的な福祉施策の展開と都市機能のより一層の充実、そして教育環境の整備が地域の課題として挙げられる。現在第5次吉川市総合振興計画を策定しているところで、今後も「住みよさ日本一」を目指したまちづくりに取り組んでいく。

市内産業の活性化を図るため、一店逸品事業やよしかわマルシェ（朝市）の開催による魅力ある商店づくりや、吉川ネギなど吉川農産物の地産地消の推進に取り組んでいる。また東埼玉テクノポリス工業団地の拡張事業を実施し、さらなる産業振興につなげる。

国へは東埼玉道路の整備促進と地下鉄8号線延伸の早期実現を要望したい考えだ。



三郷市長
木津 雅晟 氏

連携や開発を積極支援〝選ばれるまち〟へ

三郷市は都心20キロメートル圏に位置し、三郷インターチェンジも擁するなど恵まれた立地条件にある。

加えて、つくばエクスプレス開業や東京外環自動車道三郷南インターチェンジと常磐自動車道三郷料金所スマートインターチェンジの供用開始などにより、近年、交通の要衝として大きな変化を遂げている。

現在、「三郷中央地区」、「三郷インター周辺地区」、「新三郷ららシティ地区」などの市街地整備に力を注いでいる。

さらに、来春には三郷インター南部地区に国分（東京都中央区）とマルエツの大規模物流施設がオープンする予定で、当市のまちづくりは引き続き順調に推移することが見込まれる。

産業の活性化については、事業者が連携して行う事業への支援や、新技術・新製品の開発に取り組む事業所への補助などを積極的に展開している。

今後も市民の参加と協働により、「きらりとひかる田園都市みさと～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち」の実現に向け、各種政策を推進していきたい。

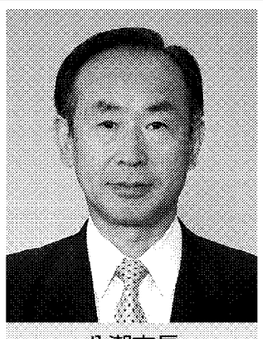
草加市長
田中 和明 氏

住工共存に向け、生産者の顔を見せる施策を展開

草加市は江戸時代に日光街道の宿場町として栄えた歴史と伝統のあるまち。全国的に有名な「草加せんべい」をはじめ、皮革、染め物、その他商工業、都市農業など多様な産業が集積している。

東京都に隣接する利便性から、現在もベッドタウンとして住宅地の拡張が続いている。市の産業振興ビジョンでは、将来像を「モノづくりを大切にする、居住と生産が共存する産業のまち」と策定した。地域住民の生活環境を配慮しながら、モノづくりを中心とした草加の魅力を伸ばしていきたい。市内企業の技術力が広く認知されるよう、全国に向けて積極的に情報発信している。同時に、工場見学やモノづくり体験など生産者の顔が消費者に見える施策を展開し、企業活動の活性化につなげたい。

また、農商工連携と観光産業への支援も強化する。5月の埼玉B級ご当地グルメ王決定戦では、特産品である小松菜を使用した「草加小松菜チヂミバーガー」が優勝した。多くの方々に草加を訪れてもらえるよう観光によるまちづくりを推進していく。



八潮市長
多田 重美 氏

小規模事業者向けに資金調達支援を展開

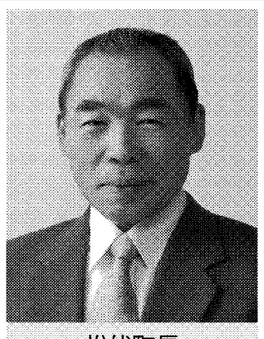
八潮市は都心から15キロメートル圏にあり、多くの中小企業が立地する県内有数の工業集積地。首都高速道路や東京外環自動車道などに加え、2005年のつくばエクスプレス八潮駅開業により、アクセスが大きく向上した。

市内には商工業ともに小規模事業者が多く、景気動向の影響を受けやすい。資金調達への支援が課題となっている中、当市は制度融資の利子補給率引き上げを実施している。また、4月には東日本大震災に伴う売り上げ減少等への対応として、実質無利子となる震災対策特別融資を始めた。

このほか、八潮市商工会と連携して、経営革新認証取得に取り組む企業への支援や、『一店逸品カタログ』参加店への支援を展開している。

今後は、中川右岸河川敷の包括占用区域について一般社団法人八潮市観光協会と連携し、中川やしおフラワーパークを中心とした水辺観光拠点を充実させる。

〝品格と活力のある八潮〟の実現に向け「八潮市産業経済振興基本計画」を推進し、市内産業の発展につなげていきたい。



松伏町長
会田 重雄 氏

東埼玉道路沿いに新工業団地整備を検討

松伏町は首都圏から30キロメートル圏内に位置し、江戸川、中川、利根川に囲まれた水と緑で自然にあふれる町といえる。プロゴルファーの石川遼選手、バレーボールの石島雄介選手、エスビー食品創業者の山崎峯次郎氏など著名人の出身地としても知られ、地道にコツコツと努力し成功する町民の気質を表している。

現在、第4次総合振興計画をもとに、東埼玉道路の整備に向けて準備を進めている。交通渋滞の解消や物流環境の充実などが期待できる。都市計画道路浦和野田線と東埼玉道路との結節点に新工業団地の整備を検討しており、既存の工業団地「東埼玉テクノポリス」との連動性を意識しながら松伏の産業がさらに活性化するよう全力を尽くしたい。

町内には松伏総合公園やまつぶし緑の丘公園など多くの公園や緑道がある。美しい景観を維持しようと、町民が公園の清掃などに自発的に取り組んでおられ、心強く大変感謝している。

今後も人のために奉仕し、喜びに変えられる風土が根付く町へとさらに発展していきたい。

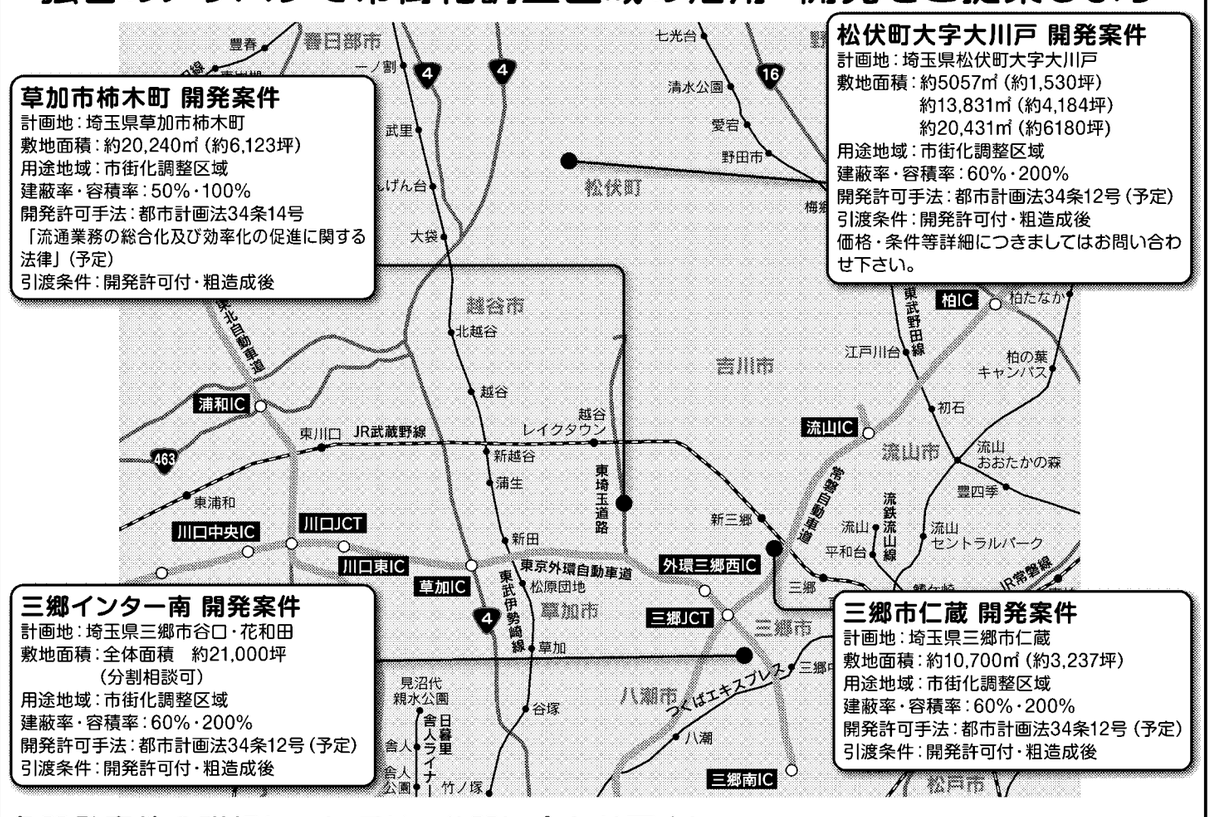
ポラスの住まいづくりでは、耐震性や快適性などを配慮した様々な実験を日々行っています。耐震性を高めるために、骨組みや金具を自社開発するなど、ポラスは見えないところにも力を注ぎます。

住むほどに、良さがわかってくる。そんな、一生愛せる住まいを、ポラスはつくり続けます。

住まい価値創造企業
POLUS
ポラスグループ

www.polus.co.jp　ポラス　検索
ポラス（株）越谷市南越谷 1-21-2　TEL.048-989-9119
ポラスの携帯版分譲検索サイト

エム・ケー㈱ 東部地区開発案件
独自のノウハウで市街化調整区域の活用・開発をご提案します



各開発案件の詳細については、お問い合わせ下さい

M&K　AMENICATION, with M&K
エム・ケー株式会社　東京都日野市大坂上1-30-28 MKビル　TEL. 042-589-0223　FAX. 042-589-0224
http://www.mk-corp.co.jp/